

様式第2号（第5の6（1）②関係）

平成25年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書（各年度計画書）

（事業計画書作成担当者）

都道府県等の名称	北海道		
所在地	北海道札幌市中央区北3条西6丁目		
事業計画作成担当者	氏名	所属部局・役職名等	
		環境生活部 環境局 地球温暖化対策室 計画推進グループ	
	TEL	FAX	メールアドレス
	011-204-5885	011-232-1301	

（基金事業の執行計画）

（単位：千円）

再生可能エネルギー等導入推進事業	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
地域資源活用詳細調査事業	800	800			
公共施設再生可能エネルギー等導入事業	36,479	270,046			
民間施設再生可能エネルギー等導入推進事業	0	0			
風力・地熱発電事業等導入支援事業	0	0			
合計	37,279	270,846			

平成25年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書（各年度計画書）

（事業計画の概要）

計画の名称	北海道グリーンニューディール基金（再生可能エネルギー等導入推進基金事業）		
事業の実施期間	平成25年度	交付対象	北海道、市町村
1 平成25年度計画概要			

【事業の目的、執行方針】

防災対策の推進による道民の安全の確保及び循環と共生を基調とする環境負荷の少ない持続可能な低炭素社会の実現を図るため、地域の再生可能エネルギーを活用した災害に強い自立・分散型エネルギーの導入を支援することにより、エネルギーの地産地消を通じた地域づくりに資することを目的とし、次の観点から事業を実施します。

① 地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入

本道は全国トップクラスの賦存量を誇る太陽光や風力などの多様な再生可能エネルギーを有しており、こうした道内各地域に賦存する様々な地域資源の活用を目指す。

② 地域づくりの推進

事業の評価、選定にあたっては、廃棄物問題等の地域課題の解決や産業振興など地域づくりへの貢献が見込まれる事業に配慮する。

③ 防災対策推進地域等への配慮

東日本大震災を踏まえた防災対策の推進の必要性に鑑み、東日本大震災財特法に基づく特定被災地方公共団体や、近い将来地震発生の可能性が高い日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域などについては、早期の事業執行が図られるよう配慮する。

【事業の選定方法、監理体制】

本基金事業では、事業計画の立案段階から実施後の評価までの一連の事業プロセスにおいて効率性や透明性などを検証できる仕組みを構築するため、「北海道再生可能エネルギー等導入推進基金事業評価委員会」を開催し、実施事業の審査、評価、助言等を受けることとしています。

今年度は、平成24年度の事業実績について評価を頂くほか、平成26年度事業の選定に向けて事業評価を行う予定です。

〔北海道再生可能エネルギー等導入推進基金事業評価委員会の構成〕

北 裕幸	北海道大学大学院情報科学研究科教授（再生可能エネルギー）	
高井 伸雄	北海道大学大学院工学研究院准教授（防災）	
平岡 俊一	北海道教育大学教育学部釧路校講師（地域づくり）	※五十音順

〔評価委員会の開催予定〕

○平成25年度第1回評価委員会

- ・平成25年5月頃を予定
- ・主な内容：平成24年度事業の実施状況報告、事業実績の評価

○平成25年度第2回評価委員会

- ・平成25年9月頃を予定
- ・主な内容：平成25年度事業の進捗状況報告、平成26年度要望事業の評価

【実施事業の概要】

① 地域資源活用詳細調査事業

本事業メニューでは、各年度事業の評価のため評価委員会を開催するほか、今後の基金事業の効果的な実施等について検討を進めるための会議を開催するなど、基金事業の実施に必要な事務を執り進めます。

② 公共施設再生可能エネルギー等導入事業

本事業メニューでは、前年度に採択した利尻町など2事業のほか、新規採択事業として芽室町など6事業を実施します。

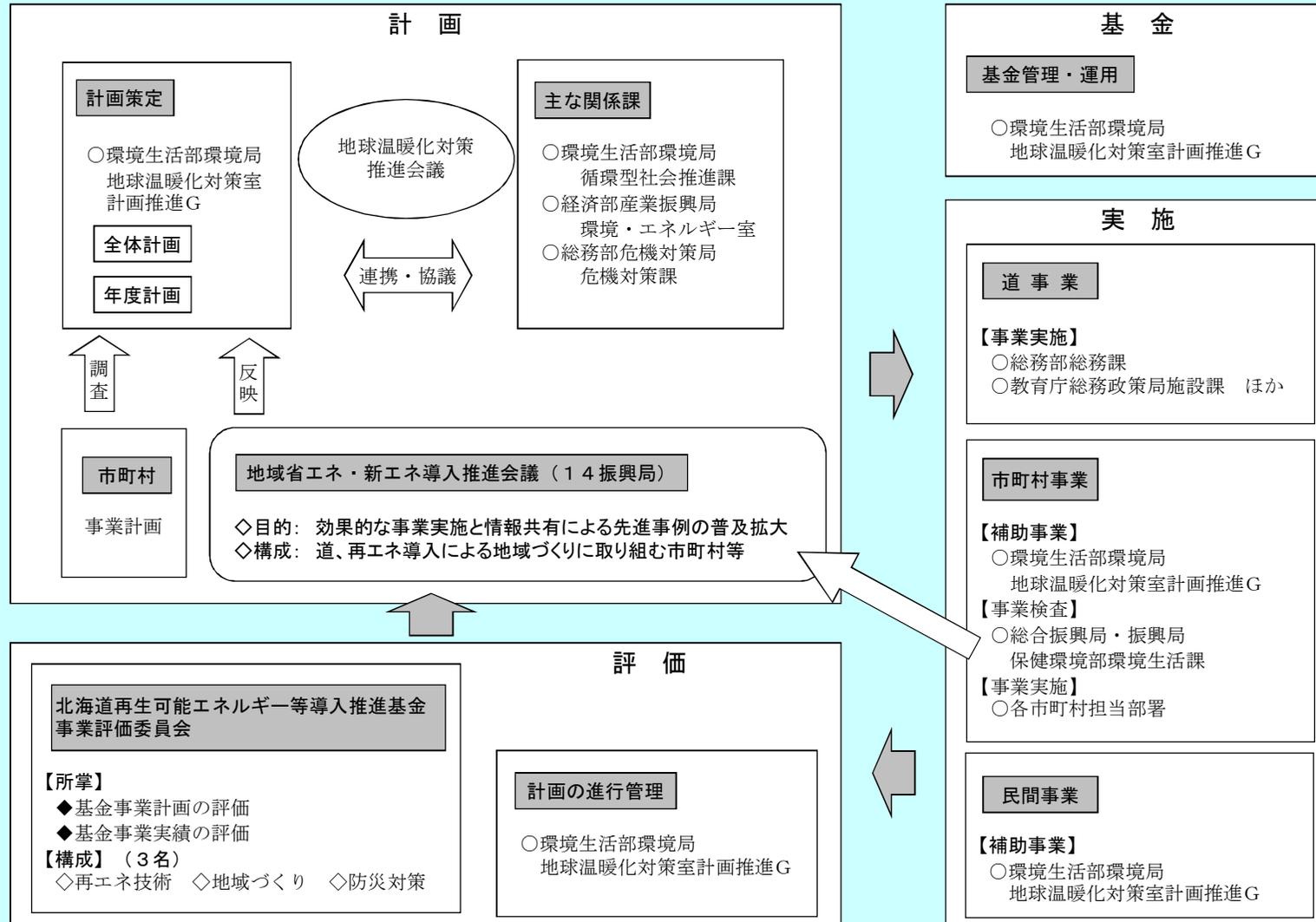
<事業区分>

行政機能の維持	—
医療機能の維持	—
避難所等の確保	6 施設
都市機能の維持	1 施設

<予定事業>

実施主体	エネルギー種別	事業期間	事業の概要
広尾町	太陽光	2 5	広尾町は東日本大震災の特定被災地方公共団体であるとともに、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域に指定されている。 道内でも日射量が多い地域特性を活かし、災害対策本部となる役場庁舎に太陽光発電を導入する。
利尻町	太陽光、風力	2 4～2 5	利尻町の電力は島内唯一のディーゼル発電施設に依存しており、風況の良さを活かして、避難施設となる総合体育館へ、風力発電と太陽光発電を組み合わせ、気象の変化にも対応できる自立・分散型エネルギーを導入する。 2 5年度は前年度に行った実施設計に基づき本工事を実施する。
厚沢部町	バイオマス（熱利用）	2 5	林業を基幹産業とする厚沢部町では、バイオマスタウン構想を策定し、木質バイオマスの活用を推進することとしており、災害時等に避難施設となる「うずら温泉」にバイオマスチップボイラを設置することにより、同構想の推進および防災対策の強化を図る。
南富良野町	バイオマス（熱利用）	2 5	南富良野町では、町総合計画において豊富な森林資源の有効活用を推進することとしており、避難施設となる幾寅小学校の整備にあたり、地域の木材を活用した校舎建築と合わせ、バイオマスチップボイラを設置することにより、同計画の推進を図る。
美幌町	小水力	2 5	美幌町は道の地域防災計画で常時観測火山（活火山）に指定された雌阿寒岳の周辺市町村。 災害時等における上水の供給機能を強化するため、日並浄水場へ、水源地と浄水場の高低差を活用した小水力発電を導入する。
芽室町	バイオマス（発電）	2 5～2 6	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域に指定されている芽室町では、町内で製造の木質ペレットを活用し、避難施設に指定された総合体育館へバイオマス発電設備を導入するとともに、余熱も熱利用する。 なお、2 5年度は実施設計を行う。
富良野市	小水力	2 5～2 6	富良野市は常時観測火山周辺市町村（十勝岳）に指定されており、災害時等に避難施設となる麓郷小学校へ、河川の水流を活用した小水力発電を導入する。 なお、2 5年度は実施設計を行う。
北海道	太陽光	2 5～2 6	苫小牧市は日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域や常時観測火山周辺市町村（樽前山）に指定されており、道内でも日射量が多い地域。 地域の避難施設に指定されている苫小牧東高校へ太陽光発電を導入するに当たり、2 5年度は実施設計を行う。

【事業の実施体制】



2 平成25年度の成果目標

本基金事業では、非常時における一定程度の持続的なエネルギー供給を確保することを目的として、再生可能エネルギーの導入量、CO2削減量、防災拠点等となり得る公共施設における再生可能エネルギーの普及率を成果指標としており、平成25年度は次の目標達成を目指します。

① 再生可能エネルギーによる発電量（導入量）

→ 平成25年度末で、129,594kWh/年の導入

② 本事業によるCO2削減量

→ 平成25年度末で、274.6t-CO2/年の削減

③ 防災拠点等となり得る公共施設への再生可能エネルギーの普及

→ 平成25年度末で、6施設の導入

項目	H24	H25	H26	H27	H28
本事業で導入した再生可能エネルギーによる発電量	kWh 10,000	kWh 119,594	kWh (337,520)	kWh (40,000)	kWh (3,000)
(累計)	10,000	129,594	(467,114)	(507,114)	(510,114)
本事業で導入した再生可能エネルギーによるCO2削減量	t-CO2 3.5	t-CO2 271.1	t-CO2 (250.6)	t-CO2 (14.1)	t-CO2 (10.6)
(累計)	3.5	274.6	(525.2)	(539.3)	(549.9)
防災拠点等となり得る公共施設の再生可能エネルギー普及率	1.8%	1.9%	(2.0%)	(2.0%)	(2.1%)
本基金による再エネ導入施設数	1カ所	5カ所	(7カ所)	(3カ所)	(2カ所)
(累計)	1カ所	6カ所	(13カ所)	(16カ所)	(18カ所)
目標に対する導入割合	6%	27%	(39%)	(17%)	(11%)
(累計)	6%	33%	(72%)	(89%)	(100%)

平成25年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書（各年度計画書）

(2) 公共施設再生可能エネルギー等導入事業												
事業番号	事業名	基金充当額（千円）					実施主体	施設区分	事業内容	事業効果		特定被災 地方公共 団体
		H24	H25	H26	H27	H28				発電量 (kWh/年)	CO2削減量 (t-CO2/年)	
01000-24-2-001	広尾町再生可能エネルギー等導入事業 (庁舎)						広尾町	庁舎	太陽光20kW、蓄電池5kWh	20,000	7.06	○
01000-24-2-002	浜中町再生可能エネルギー等導入事業（ふれあい交流保養センター）	31,479					浜中町	公民館	太陽光10kW、蓄電池16kWh	10,000	3.53	○
01000-24-2-003	利尻町再生可能エネルギー等導入事業 (総合体育館)	5,000					利尻町	体育館	太陽光20kW、風力4kW、蓄電池30kWh	23,504	8.30	
01000-25-2-001	厚沢部町再生可能エネルギー等導入事業 (うずら温泉)						厚沢部町	宿泊施設	バイオマスボイラ180kW（電力換算）		188.82	
01000-25-2-002	南富良野町再生可能エネルギー等導入事業 (幾寅小学校)						南富良野町	学校	バイオマスボイラ232kW（電力換算）		40.10	
01000-25-2-003	美幌町再生可能エネルギー等導入事業 (日並浄水場)						美幌町	上水道	小水力15kW	78,840	27.83	
01000-25-2-004	芽室町再生可能エネルギー等導入事業 (総合体育館)						芽室町	体育館	バイオマス発電30kW、蓄電池15kWh	210,240	205.63	
01000-25-2-005	富良野市再生可能エネルギー等導入事業 (麓郷小学校)						富良野市	学校	小水力5kW、蓄電池20kWh	26,280	9.28	
01000-25-2-006	北海道再生可能エネルギー等導入事業 (苫小牧東高校)						北海道	学校	太陽光15kW、蓄電池15kWh	15,000	5.30	
合計		36,479	270,046							383,864	495.84	

※事業効果については、端数処理により合計と合わない場合があります